

Arcstar Smart PBX対応
ミッドレンジモデル2
操作マニュアル ver1.7



NTTコミュニケーションズ株式会社
2025年1月

まえがき

Arcstar Smart PBXをご利用いただきありがとうございます。

本マニュアルでは、お客様がIP電話機ミッドレンジモデル2（NTT製IP電話機）でサービスの利用ができるよう操作および機能を説明します。

なお、操作や機能のお問い合わせは本マニュアルに掲載している内容に限り対応を行います。

改版履歴

改訂番号	変更日付	変更内容
1.0	2023/02/20	初版
1.1	2023/05/08	通話時の着信動作追記
1.2	2023/06/28	まえがき
1.3	2023/08/01	パスワードに関する注意事項追記
1.4	2023/09/26	パソコンでの電話帳登録について注意事項追記
1.5	2024/02/19	複数着信追記
1.6	2024/04/22	ディスプレイに表示される情報追記
1.7	2025/01/31	MACアドレスの確認方法、留意事項追記

目次

1 特徴	p.5	7 転送	p.27
2 機能説明	p.6	7.1 保留転送	
2.1 電話機機能		7.2 ブラインド転送	
2.1.1 各部機能		8 留守番電話	p.28
2.1.2 右側面		8.1 留守番電話	
2.1.3 背面		9 IPアドレス確認	p.29
2.1.4 MACアドレスの確認方法		9.1 電話機のIPアドレスを確認する	
2.2 ディスプレイ		10 電話帳(個人電話帳)	p.30
2.3 ランプ表示		10.1 電話帳登録	
2.4 電話機プログラマボタンへの設定内容		11 ワンタッチダイヤル	p.31
3 発信	p.13	11.1 ワンタッチダイヤルボタンを登録する	
3.1 内線発信		12 パソコンを使って電話帳の登録を行う	p.33
3.2 外線発信		13 データ設定	p.37
3.3 ワンタッチダイヤルボタンで電話をかける		13.1 表示設定	
3.4 電話帳を使って電話をかける		13.2 通知音設定	
3.5 履歴発信		13.3 発信機能設定	
3.6 再ダイヤルをする		13.4 着信機能設定	
3.7 ハンズフリーで電話をかける		13.5 着信音設定	
3.8 ヘッドセットを使用して電話をかける		13.6 ヘッドセット機能設定	
4 着信	p.19	13.7 カレンダー設定	
4.1 内線着信		13.8 その他の設定	
4.2 外線着信		14 その他	p.45
4.3 複数着信		14.1 音量調整	
4.4 通話時の着信動作		14.2 内線テストコール	
4.5 不在着信(着信拒否)をするには		14.3 ご利用ネットワーク環境における設定	
4.5.1 非通知着信拒否		14.4 IP電話機お買い上げ時の管理者権限	
4.6 ハンズフリーで電話を受ける		14.5 本機を設置/接続する	
4.7 着信に自動で応答する		14.6 ディスプレイに表示される情報	
4.8 ヘッドセットを使用して電話を受ける		14.7 留意事項	
5 保留	p.24	15 機能用語集	p.48
5.1 通話中保留及び応答		15.1 コールピックアップとは?	
6 コールピックアップ/パーク保留	p.25	15.2 パーク保留とは?	
6.1 コールピックアップ		15.3 複数着信とは?	
6.2 パーク保留			
6.2.1 パーク保留をする			
6.2.2 パーク保留中の電話に応答する			

1. Arcstar Smart PBX対応ミッドレンジモデル2の特徴

Arcstar Smart PBX対応ミッドレンジモデル2（NTT製IP電話機） ※には4つの特徴があります。
※以下、電話機とします。

- 漢字表示対応
- 24個のプログラマブルボタン
- 電話帳機能
- 5つの副回線を収容可能（ミッドレンジモデル2Version1.00※）
※電話機のバージョンは、電話機再起動により確認できます。

漢字表示対応

大型液晶ディスプレイを搭載し、全角10文字×4行の漢字表示ができます。



24個のプログラマブルボタン

外線発信ボタン・外線着信ボタン・ワンタッチダイヤルボタン・ヘッドセット使用ボタンなどが割り当てられる、24個の2色LED（発光ダイオード）付きプログラマブルボタンを装備しました。



電話帳機能

最大500件の相手先の電話番号と名称を登録できます。電話帳に登録した電話番号と一致する相手先から着信した場合、登録した名称をディスプレイに表示できます。登録したメモリ番号を使えば、短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルで電話をかけることもできます。また、パソコンを使って電話帳を登録・編集する「Web設定」が行えます。



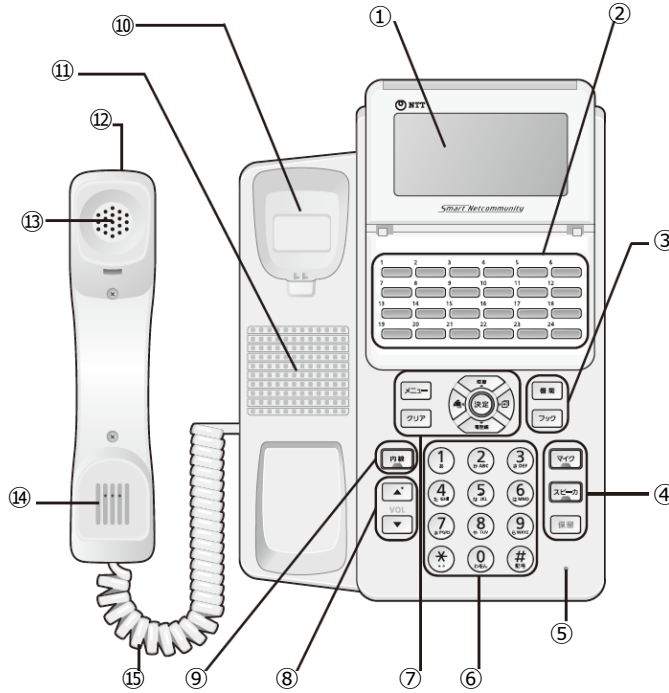
5つの副回線を収容可能

1台の電話機に主回線に加え、最大5つまで副回線を収容することができます。



2. 機能説明

■ 2.1 電話機機能

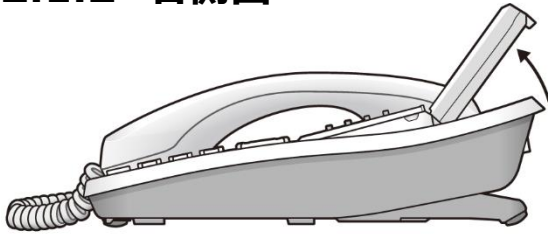


①	ディスプレイ	⑨	内線ボタン
②	プログラマブルボタン	⑩	フックスイッチ
③	使用しません。	⑪	スピーカ
④	マイクボタン/スピーカボタン/保留ボタン	⑫	ハンドセット
⑤	マイク	⑬	受話口
⑥	ダイヤルボタン	⑭	送話口
⑦	メニューボタン/クリアボタン/上下左右ボタン/決定ボタン	⑮	ハンドセットコード
⑧	音量調整ボタン		

■ 2.1.1 各部機能

①	ディスプレイ	
②	プログラマブルボタン	「データ設定」により、24個のボタンに外線発信ボタン、外線着信ボタンやワンタッチダイヤルボタン、ヘッドセット使用ボタンなど、さまざまな機能を割り当てて使います。別名でプログラマブルキーと呼ぶことがあります。
③	使用しません。	
④	マイクボタン／スピーカボタン／保留ボタン	マイクボタン：マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままハンズフリー通話をするときに使います。 スピーカボタン：相手の方の声をスピーカで聞くとときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。 保留ボタン：相手の方とのお話を保留するときに使います。
⑤	マイク	受話器をとらずに通話するときに使用します。
⑥	ダイヤルボタン	
⑦	メニューボタン／クリアボタン／上下左右ボタン／決定ボタン	メニューボタン：電話機のデータ設定やメニューを表示します。 クリアボタン：文字を消去するときや、1つ前の画面に戻るとき、データ設定を中止するときに使います。 上下左右ボタン：カーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。
⑧	音量調整ボタン	スピーカやハンドセットからの音量を調節するときに使います。
⑨	内線ボタン	内線でお話するときに使います。
⑩	フックスイッチ	受話器を下ろさずに現在の通話を終了し、次の通話を開始するときに使用します。
⑪	スピーカ	ボイスメールを確認するときに使用します。 ※本サービスにおいては使用できません。
⑫	ハンドセット	
⑬	受話口	
⑭	送話口	
⑮	ハンドセットコード	

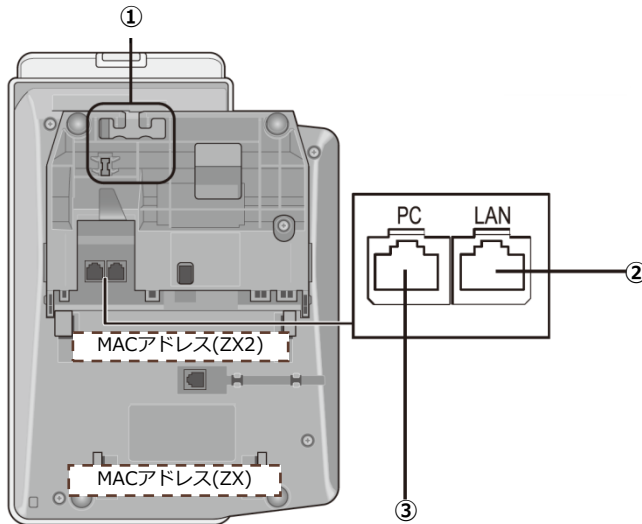
■ 2.1.2 右側面



約45°まで

ディスプレイ部分を起こす
ことができます。

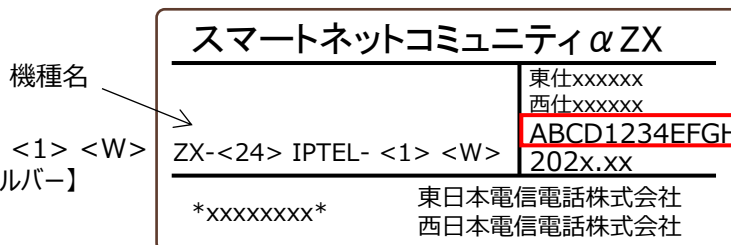
■ 2.1.3 背面



- ① LANケーブル固定用溝
LANケーブルを溝に引っかけて固定します。
- ② LANポート
LANケーブル（10BASE-T／100BASE-TX）を差し込み、給電HUBと接続します。
※LANケーブルは、カテゴリ-5以上に準拠した必要な長さのものをご用意ください。
- ③ PCポート
パソコンを接続します。

■ 2.1.4 MACアドレスの確認方法

背面の下部もしくは中央部分のシールをご確認ください。



ZX-<24> IPTEL- <1> <W>
【ディスプレイ周りがシルバー】
もしくは
ZX2-<24> IPTEL- <1> <W>
【ディスプレイ周りがブラウン】

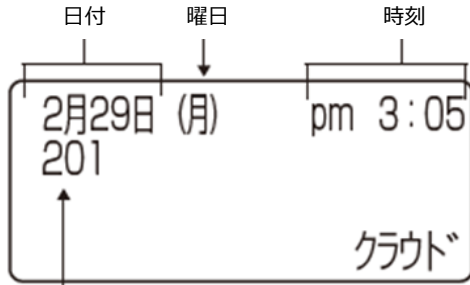
← MACアドレス：
12桁の英数字

※MACアドレスは、Web設定変更
サイトの内線設定(端末MACアド
レス欄)に間違って登録されないよ
うご注意ください。

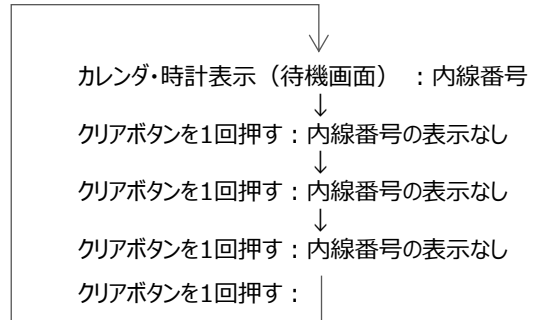
■ 2.2 ディスプレイ

<カレンダー・時計表示例（待機画面）>

番号表示（内線番号）を確認するには（通常モード）
 カレンダー・時計表示（待機画面）の2段目で、内線番号を確認することができます。

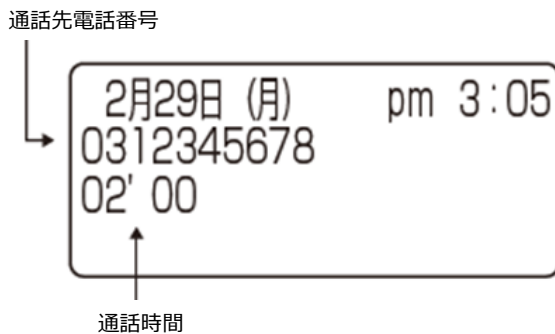


番号表示（内線番号）またはディスプレイネーム表示
 ※ディスプレイネーム表示は本サービスにおいては使用できません。



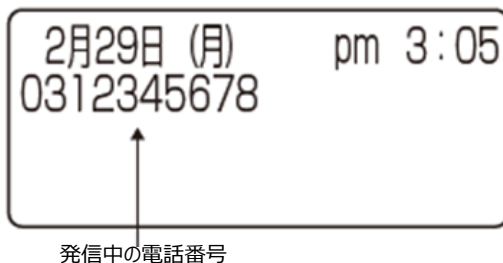
<通話時間表示例>

通話中は、通話時間と通話先電話番号または電話帳に登録している名称が表示されます。

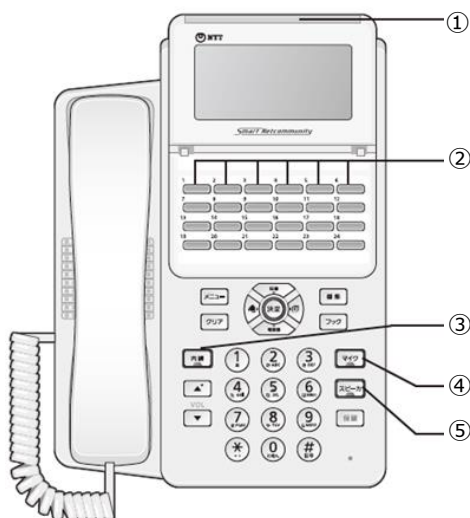


<ダイヤル発信中表示例>

電話帳から発信するときは、発信先名称が表示されます。



■ 2.3 ランプ表示



- ① 着信ランプ
- ② プログラマブルボタンのランプ
- ③ 内線ランプ
- ④ マイクランプ
- ⑤ スピーカランプ

ランプの種類		ランプのつかた (色)	電話機の状態
着信ランプ		点滅 (赤)	電話がかかってきたとき、保留警報中のとき、FTP書込中のとき
		遅い点滅 (赤) (約 1 秒周期)	保留したとき、転送通話中のとき、ネットワーク接続起動中のとき、FTPアップロード中のとき、ログイン中のとき
		点灯 (赤)	不在設定 (着信拒否) をしたとき
プログラマブル のランプ	ヘッドセット使用ランプ	点灯 (赤)	ヘッドセットモード機能中 (自動応答しない) のとき
		点灯 (緑)	ヘッドセットモード機能中 (自動応答する) のとき
	外線発信ランプ	点灯中、 周期的に2回消える (緑)	外線発信中または外線通話中のとき
	個別着信自動応答 ランプ	点灯 (緑)	自動で着信に応答するとき
	外線着信ランプ	点灯中、 周期的に2回消える (緑)	外線で応答のとき
		点滅 (赤)	外線で呼び出されているとき
	コールピックアップ ランプ (代理応答) ※	遅い点滅 (赤) (約1秒周期)	ピックアップ可能呼があるとき
	留守録再生 ランプ※	点灯 (赤)	新規メッセージなしかつ既読メッセージありのとき
		遅い点滅 (赤) (約1秒周期)	新規メッセージありかつ既読メッセージありのとき 新規メッセージありかつ既読メッセージなしのとき
コールパーク応答ランプ※	遅い点滅 (赤) (約1秒周期)	コールパーク呼があるとき	
副回線 (x) ランプ (xは副回線番号)	点灯中、 周期的に2回消える (緑)	副回線発信中または副回線通話中の時	
	点滅 (赤)	副回線で呼び出されているとき	
内線ランプ	点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき	
	点灯中、 周期的に2回消える (赤)	内線発信中または内線通話中のとき	
マイクランプ	点灯 (赤)	マイクがオンのとき	
スピーカランプ	点灯 (赤)	スピーカを使用しているとき	

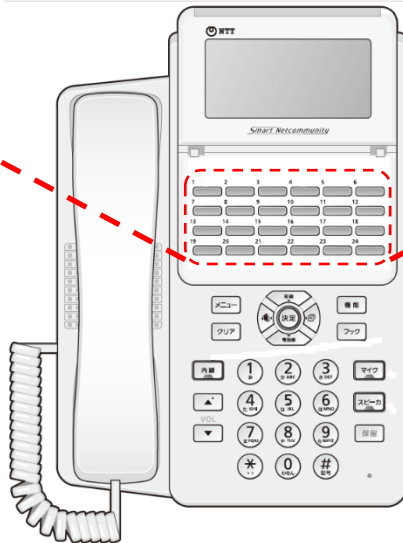
※：副x-コールピックアップランプ、副x-留守録再生ランプ、副x-コールパーク応答ランプも同様です。
 (※本書中で副回線x、副xのxは副回線番号1～5が該当します。本書中で、このxを省略して記載することもあります。)

■ 2.4 電話機プログラマブルボタンへの設定内容

ボタンの配列 (マルチライン未利用時)

ミッドレンジモデル2Version1.00かつ端末自動設定実施後)

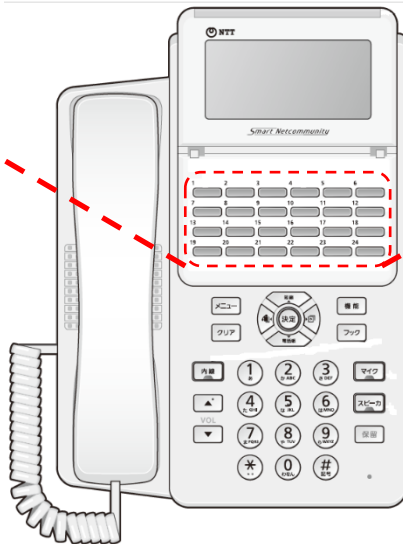
1	2	3	4	5	6
外線着信					代理応答
7	8	9	10	11	12
パーク応答 1	パーク応答 2	パーク応答 3			パーク保留
13	14	15	16	17	18
留守録再生	不在	ヘッドセット	個別着信自動応答	ブラインド転送	転送
19	20	21	22	23	24
ワンタッチ 1	ワンタッチ 2	ワンタッチ 3	ワンタッチ 4	ワンタッチ 5	外線発信



初期設定は、プログラマブルボタンの 19 ~ 23 ボタンへ、電話帳のメモリ番号「000」 ~ 「004」までワンタッチダイヤルの設定がされています。
設定変更したい場合は、本資料の「11.ワンタッチダイヤル」をご確認ください。

ボタンの配列 (マルチライン利用時例 ミッドレンジモデル2Version1.00)

1	2	3	4	5	6
主-外線着信		主-代理応答	副回線1		副1-代理応答
7	8	9	10	11	12
主-パーク応答1	主-パーク応答2	主-パーク応答3	副1-パーク応答1	副1-パーク応答2	副1-パーク応答3
13	14	15	16	17	18
留守録再生	不在			ブライント転送	転送
19	20	21	22	23	24
ワンタッチ1	ワンタッチ2	ワンタッチ3	ワンタッチ4	ワンタッチ5	パーク保留



初期設定は、プログラマブルボタンの19～23ボタンへ、電話帳のメモリ番号「000」～「004」までワンタッチダイヤルの設定がされています。

設定変更したい場合は、本資料の「11.ワンタッチダイヤル」をご確認ください。

※上記ボタン配列はあくまで一例となります。

実際の配列に関しては、ご利用者ごとに設定して頂く必要がございます。

3. 発信

この章では、電話のかけ方について説明します。

電話をかける

- ① 【内線】／【外線発信】ボタンを押します。
副回線は【副回線ボタン】を押します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます
- ③ 電話番号を入力する(最大31桁)
- ④ 【#】を押す
または、電話がかかるとまで数秒待つ
- ⑤ 通話が終わったら、ハンドセットを置きます

電話番号を確認してから電話をかける(プリセットダイヤル)

待機中、【ハンドセット】を置いたまま電話をかけることができます。

- ① 電話番号をダイヤルボタンで押します。
入力した番号を削除するには、【クリア】を押してください。
番号をすべて削除するには、【クリア】を長押ししてください。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます。
- ③ お話が終わったら、ハンドセットを置きます。

■ 3.1 内線発信

内線に電話をかける(同一の拠点番号の内線への電話)

発信者と同じ拠点番号の内線に電話をかける方法です。

- ① 【内線ボタン】を押します。
副回線から発信する際は、【副回線ボタン】を押します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます
- ③ 内線番号または端末番号を入力する(最大31桁)
- ④ 【#】を押す
または、電話がかかるとまで数秒待つ
- ⑤ 通話が終わったら、【ハンドセット】を置きます

内線に電話をかける(異なる拠点番号の内線への電話)

発信者と違う拠点番号の内線に電話をかける方法です。

- ① 【内線ボタン】を押します。
副回線から発信する際は、【副回線ボタン】を押します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます
- ③ 内線番号を入力する(最大31桁)
- ④ 【#】を押す
または、電話がかかるとまで数秒待つ
- ⑤ 通話が終わったら、ハンドセットを置きます

■ 3.2 外線発信

外線電話をかける

- ① 【外線発信ボタン】を押します。
副回線から発信する際は、【副回線ボタン】を押します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます
- ③ 外線発信用の特番0に続き、外線番号をダイヤルする。
※Web設定変更サイトの外線Prefix設定において「0+外線番号で発信」を選択している場合に限り
ます。設定していない場合は、外線番号のみをダイヤルします。(最大31桁)
- ④ 【#】を押す
または、電話がかかるとまで数秒待つ
- ⑤ 通話が終わったら、ハンドセットを置きます

■ 3.3 ワンタッチダイヤルボタンで電話をかける

ワンタッチダイヤルボタンが割り当てられているプログラマブルボタンに、よくかける相手の電話番号（外線、内線）を登録しておく、簡単に電話をかけられます。

※ワンタッチダイヤルの設定方法は、「11.1 ワンタッチダイヤルボタンを登録する」を参照してください。

<主回線から電話をかける>

- ① 【ワンタッチダイヤルボタン】を押します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます。
- ③ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。

<副回線から電話をかける>

- ① 【ワンタッチダイヤルボタン】を押します。
- ② 【副回線ボタン】を押します。
- ③ 【ハンドセット】を取りあげます。
- ④ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。

※ワンタッチダイヤル即時発信を「発信する」と設定していると、主回線からの発信となります。
「発信しない」を設定して頂くか、【副回線ボタン】を先に押下して頂く必要があります。

■ 3.4 電話帳を使って電話をかける

よくかける相手の電話番号（外線、内線）を電話帳に登録しておく、簡単にダイヤルすることができます。

フリガナ、グループ、メモリ番号のいずれかで、目的の相手先を検索します。

※電話帳の設定方法は、「10.1 電話帳登録」を参照してください。

フリガナまたはグループで検索する

- ① 【電話帳ボタン】を押します。
- ② 検索画面を切り替えるときは【電話帳ボタン】を長押しします。

<フリガナ検索>

- ③ 電話帳に登録したフリガナを入力します。「鈴木」を検索するときは、サ行の先頭の「ス」を入力したあと、【決定ボタン】、または【上下ボタン】を押します。
- ④ 【上下左右ボタン】で目的の電話帳を選択します。
【左右ボタン】を押すと、前後の4件が表示されます。

<グループ検索>

- ③ 検索するグループの番号を【ダイヤルボタン】で押します。
または【上下ボタン】で選択し、【決定ボタン】を押します。
- ④ 【上下左右ボタン】で目的の電話帳を選択します。
【左右ボタン】を押すと、前後の4件が表示されます。
- ⑤ 【ハンドセット】を取りあげます。
副回線で電話をかける際は、【副回線ボタン】を押した後、【ハンドセット】を取りあげます。

メモリ番号で検索する

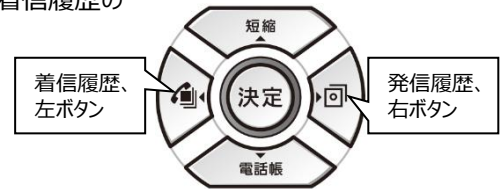
- ① 【短縮ボタン】を押します。
- ② 【メモリ番号】を【ダイヤルボタン】で押し、【決定ボタン】を押します。
- ③ 【ハンドセット】を取りあげます。
副回線で電話をかける際は、【副回線ボタン】を押した後、【ハンドセット】を取りあげます。

■ 3.5 履歴発信

通話履歴から電話をかける

かけた電話番号などは、発信履歴として最新の20件分が保存されています。着信の場合、かけてきた方の電話番号などは、着信履歴として最新の20件分が保存されています。これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。

- ① 【発信履歴ボタン】または【着信履歴ボタン】を押し、発信／着信履歴の一覧画面を表示します
- ② 【上下左右ボタン】で目的の履歴を選択します。
- ③ 【ハンドセット】を取りあげます。
副回線から電話をかける際は、【副回線ボタン】を押した後【ハンドセット】を取りあげます。
- ④ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。



<発信履歴一覧画面>

①	②	③
01	未	本社
02	0312345678	
03	202	
04	第二営業	

- ① 発信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「20」
- ② 発信状態：未（応答がなかった）
- ③ 発信先の情報：電話番号／内線番号、名称
(名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合)

<着信履歴一覧画面>

①	②	③
01	未	第一営業
02	0312345678	
03	0312341111	
04	0312342222	

- ① 着信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「20」
- ② 着信状態：未（応答しなかった）
- ③ 発信者の情報：発信者の電話番号／内線番号、名称
(電話帳に登録されている名称)

<履歴メニューを利用するには>

1	電話帳登録
2	1件削除
3	全件削除

- ① 発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録したり履歴を消去するには、履歴メニューを利用します。
- ② 発信／着信履歴の一覧画面でメニューボタンを押すと、次のような履歴メニューが表示されます。
- ③ 目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押します。
- ④ 履歴メニューから一覧画面に戻るときは、クリアボタンを押します。

※ 待機画面に戻るときは、クリアボタンを長く押します。

■ 3.6 再ダイヤルをする

最後にかけた相手の方に簡単にかけ直すには

- ① 【発信履歴ボタン】を押す
- ② 【ハンドセット】を取りあげる
副回線から電話をかける際は、【副回線ボタン】を押した後【ハンドセット】を取りあげます。

■ 3.7 ハンズフリーで電話をかける

ハンドセットを置いたまま、内線通話、外線通話をかけることができます。

内線へ電話をかける

- ① 【マイクボタン】を押します。
【マイクボタン】が赤点灯の状態となり、マイク機能が有効となります。
- ② 【内線ボタン】/【副回線ボタン】を押します。
- ③ 内線番号をダイヤルボタンで押します。
- ④ 電話機の【マイク】に向かってお話しください
- ⑤ 通話が終わったら、【スピーカボタン】を押します。
- ⑥ 【マイクボタン】を押します。

外線へ電話をかける

- ① 【マイクボタン】を押します。
【マイクボタン】が赤点灯の状態となり、マイク機能が有効となります。
- ② 【外線発信ボタン】/【副回線ボタン】を押します。
- ③ 電話番号をダイヤルボタンで押します。
- ④ 電話機の【マイク】に向かってお話しください
- ⑤ 通話が終わったら、【スピーカボタン】を押します。
- ⑥ 【マイクボタン】を押します。

お知らせ

- ・ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには【ハンドセット】を取りあげると、ハンドセットでお話しできます。
- ・ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするにはお話し中に【スピーカボタン】、【マイクボタン】の順に押します。
【ハンドセット】を置くと、ハンズフリー通話ができます。

■ 3.8 ヘッドセットを使用して電話をかける

ヘッドセットを電話機へ接続し、内線通話、外線通話をすることができます。

お知らせ

- ・ 本機能をご利用いただけるのは、ミッドレンジモデル2Version1.00です。

内線へ電話をかける

- ① 待機画面中に【ヘッドセットボタン】を押します。
【ヘッドセットランプ】が点灯でヘッドセットが利用可能です。
- ② 【スピーカーボタン】を押します。
副回線からかける場合は、【スピーカーボタン】を押した後【副回線ボタン】を押します。
- ③ 電話番号をダイヤルします。
- ④ 通話が終わったら、【スピーカーボタン】を押します。

外線へ電話をかける

- ① 待機画面中に【ヘッドセットボタン】を押します。
【ヘッドセットランプ】が点灯でヘッドセットが利用可能です。
- ② 【スピーカーボタン】を押します。
- ③ 【外線発信ボタン】/【副回線ボタン】を押します。
- ④ 電話番号をダイヤルします。
- ④ 通話が終わったら、【スピーカーボタン】を押します。

4. 着信

この章では、電話の受け方について説明します

■ 4.1 内線着信

主回線の着信の場合

- ① 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【内線ランプ】が赤く点滅します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます。
- ③ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。

副回線の着信の場合

- ① 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【副回線ランプ】が赤く点滅します。
- ② 【副回線ボタン】を押します。
- ③ 【ハンドセット】を取りあげます。
- ④ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。

■ 4.2 外線着信

主回線の着信の場合

- ① 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【外線着信ランプ】が赤く点滅します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます。
- ③ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。

副回線の着信の場合

- ① 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【副回線ランプ】が赤く点滅します。
- ② 【副回線ボタン】を押します。
- ③ 【ハンドセット】を取りあげます。
- ④ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。

■ 4.3 複数着信

複数着信の動作は機能用語集をご確認ください。

主回線の外線の複数着信

- ① 複数着信のボタン割り当てしている場合は、着信音が鳴り、【着信ランプ】と【外線着信ランプ】が着信呼ごとに赤く点滅します。（通話中の場合は着信音は鳴らず【外線着信ランプ】が赤く点滅のみです）
- ② 【ハンドセット】を取りあげると1呼目の着信に応答します。2呼目以降に応答する場合は対象の【外線着信ランプ】の赤い点滅ボタンを押下して【ハンドセット】を取りあげてください。
- ③ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。（通話の終了後に着信がある場合は着信音が鳴ります。）

副回線の内線/外線の複数着信

- ① 複数着信のボタン割り当てしている場合は、着信音が鳴り、【着信ランプ】と【副回線ランプ】が着信呼ごとに赤く点滅します。（通話中の場合は着信音は鳴らず【副回線ランプ】が赤く点滅のみです）
- ② 【ハンドセット】を取りあげると1呼目の着信に応答します。2呼目以降に応答する場合は対象の【副回線ランプ】の赤い点滅ボタンを押下して【ハンドセット】を取りあげてください。
- ③ お話が終わったら、【ハンドセット】を置きます。（通話の終了後に着信がある場合は着信音が鳴ります。）

複数着信の設定は、『Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトマニュアル』を参照ください。

■ 4.4 通話時の着信動作

主回線で内線通話時の場合

- ・ 主回線に内線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 主回線に外線着信があった場合は【主回線 外線ランプ】が赤く点滅します。※
- ・ 副回線に内線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。（マルチライン利用時）
- ・ 副回線に外線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。（マルチライン利用時）

主回線で外線通話時の場合

- ・ 主回線に内線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 主回線に外線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 複数着信設定時に主回線に外線着信があった場合は【主回線 外線ランプ】が赤く点滅します。※（着信音無し）
- ・ 副回線に内線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。※（マルチライン利用時）
- ・ 副回線に外線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。※（マルチライン利用時）

副回線で内線通話時の場合（マルチライン利用時）

- ・ 主回線に内線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 主回線に外線着信があった場合は【主回線 外線ランプ】が赤く点滅します。※
- ・ 副回線に内線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 複数着信設定時に副回線に内線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。※（着信音無し）
- ・ 副回線に外線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 複数着信設定時に副回線に外線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。※（着信音無し）

副回線で外線通話時の場合（マルチライン利用時）

- ・ 主回線に内線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 主回線に外線着信があった場合は【主回線 外線ランプ】が赤く点滅します。※
- ・ 副回線に内線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 複数着信設定時に副回線に内線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。※（着信音無し）
- ・ 副回線に外線着信があった場合は着信不可（発信者に話中通知）
- ・ 複数着信設定時に副回線に外線着信があった場合は【副回線 内線ランプ】が赤く点滅します。※（着信音無し）

※通話を終了すると着信中の呼に応答することができます。

■ 4.5 不在設定（着信拒否）をするには

電話がかかってきても着信をしないように設定できます

不在設定（着信拒否）をする

- ① 待機画面のときに、【不在ボタン】を押します。
- ② ディスプレイに「不在」と表示し、着信ランプが赤く点灯します

不在設定（着信拒否）を解除する

- ① 待機画面のときに、【不在ボタン】を押します。
- ② ディスプレイの「不在」表示と着信ランプが消え、不在設定（着信拒否）が解除されます。

■ 4.5.1 非通知着信拒否

非通知からの着信を拒否することができます

お知らせ

- ・ 着信を拒否した電話番号は、着信履歴または不在着信履歴には記憶されません

電話番号非通知の着信を拒否するかどうか設定する

- ① 待機画面のときに、【メニューボタン】を押します。
- ② 【上下ボタン】で【04 着信機能設定メニュー】を選択します。
- ③ 【決定ボタン】を押します。
- ④ 【上下ボタン】で【01 非通知着信可否】を選択します。
- ⑤ 【決定ボタン】を押します。
- ⑥ 0・・・着信を拒否する
1・・・着信を許容する
の設定を選択します。

■ 4.6 ハンズフリーで電話を受ける

ハンドセットを置いたままで、外線通話、内線通話を受けることができます。

内線着信を受ける

- ① 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【内線ランプ】/【副回線ランプ】が赤く点滅します。
- ② 【内線ボタン】/【副回線ボタン】を押します。
- ③ 【マイクボタン】を押下後、【スピーカーボタン】を押します。
- ④ 電話機の【マイク】に向かってお話しください
- ⑤ 通話が終わったら、【スピーカボタン】を押します。
- ⑥ 【マイクボタン】を押します。

外線着信を受ける

- ① 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【外線着信ランプ】/【副回線ランプ】が赤く点滅します。
- ② 【外線着信ボタン】/【副回線ボタン】を押します。
- ③ 【マイクボタン】を押下後、【スピーカーボタン】を押します。
- ④ 電話機の【マイク】に向かってお話しください。
- ⑤ 通話が終わったら、【スピーカボタン】を押します。
- ⑥ 【マイクボタン】を押します。

お知らせ

- ・ ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには【ハンドセット】を取りあげると、ハンドセットでお話できます。
- ・ ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするにはお話し中に【スピーカボタン】、【マイクボタン】の順に押します。
【ハンドセット】を置くと、ハンズフリー通話ができます。
- ・ 【スピーカボタン】を押しただけでも着信に応答することができます。

■ 4.7 着信に自動で応答する

電話機操作をせずに自動で内線着信に対して応答することができます。

お知らせ

- ・ 本機能がご利用いただけるのは、ミッドレンジモデル2Version1.00です。
- ・ 自動応答することができるのは、主回線の内線着信のみです。
- ・ 着信自動応答時間は設定により変更可能です。
設定方法は、「13-4 着信機能設定」をご確認ください。

内線着信に自動で応答する

- ① 待機画面中に【個別着信自動応答ボタン】を押します。
【個別着信自動応答ランプ】が緑点灯で自動応答可能です。
- ② 主回線の内線に着信があると設定された時間で自動応答します。
- ③ ハンドセットにて通話する場合は、【ハンドセット】を取りあげ通話します。
ハンドセットを置いたまま通話する場合は、【マイクボタン】を押し電話機の【マイク】に話します。
- ④ ハンドセットでの通話が終わりましたら、【ハンドセット】を置きます。
ハンドセットを置いたまま通話した場合は、【スピーカーボタン】を押し通話を終了後、【マイクボタン】を押します。

■ 4.8 ヘッドセットを使用して電話を受ける

ヘッドセットを電話機へ接続し、内線通話、外線通話をすることができます。

お知らせ

- ・ 本機能がご利用いただけるのは、ミッドレンジモデル2Version1.00です。
- ・ 着信自動応答時間を設定することにより自動で応答することが可能です。
設定方法は、着信機能設定をご確認ください。
ただし、自動応答することができるのは、主回線の内線着信のみです。

内線着信を受ける

- ① 待機画面中に【ヘッドセットボタン】を押します。
【ヘッドセットランプ】が点灯でヘッドセットが利用可能です。
- ② 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【内線ランプ】/【副回線ランプ】が赤点滅します。
- ③ 【スピーカーボタン】または【内線ボタン】/【副回線ボタン】を押します。
- ④ ヘッドセットを使用して、相手の方とお話してください。
- ⑤ 通話が終わったら、【スピーカーボタン】を押します。

外線着信を受ける

- ① 待機画面中に【ヘッドセットボタン】を押します。
【ヘッドセットランプ】が点灯でヘッドセットが利用可能です。
- ② 着信音が鳴り、【着信ランプ】と【外線着信ランプ】/【副回線ランプ】が赤点滅します。
- ③ 【外線着信ボタン】/【副回線ボタン】を押します。
- ④ 【スピーカーボタン】を押します。
- ④ ヘッドセットを使用して、相手の方とお話してください。
- ⑤ 通話が終わったら、【スピーカーボタン】を押します。

5. 保留

■ 5.1 通話中保留及び応答

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。
相手の方へは保留メロディが流れます。

- ① お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。
- ② 【保留ボタン】を押して、【ハンドセット】を置きます。
- ③ もう一度お話しするときは【ハンドセット】を取りあげます。
- ④ 相手の方とお話してください。

お知らせ

- ・ 相手の方には保留メロディが流れます。着信ランプが赤でゆっくり点滅し、スピーカランプが赤く点灯します。スピーカから保留音が流れます。
- ・ 複数着信設定時の通話中に別の着信呼が着信している場合に【保留ボタン】を押して他の着信呼に応答することはできません。

■ 6.1 コールピックアップ

コールピックアップとは、自分以外にかかってきた同じグループ内の着信に応答することができます。詳細は「15.1 コールピックアップとは？」を参照ください。

コールピックアップの方法

下記のいずれかの方法でコールピックアップが行えます。

- ・ 点滅しているコールピックアップボタン（下図①の赤実線部分）を押し、代理応答する
- ・ コールピックアップ特番 * 4 をダイヤルし、代理応答する

●代理応答（コールピックアップ）を押し、代理応答する

- ① 同じグループ内の他の電話機が着信中、
【主回線-代理応答ボタン】/【副x-代理応答ボタン】が赤点滅します
（マルチライン未利用時は【代理応答ボタン】）
- ② 【主回線-代理応答ボタン】/【副x-代理応答ボタン】を押します。
（マルチライン未利用時は【代理応答ボタン】）
- ③ ハンドセットを取りあげてお話しください

お知らせ

- ・ 【代理応答ボタン】により代理応答する場合、代理応答する端末は、呼び出し先(着信先)の番号を判別できません。
- ・ コールピックアップグループが異なる内線への代理応答はできません。

●コールピックアップ特番 * 4 をダイヤルし、代理応答する

- ① 待機中に受話器を取る
副回線で応答する際は、【副回線ボタン】を押して受話器を取る
- ② コールピックアップ（代理応答）特番 * 4 をダイヤル
- ③ 【#】を押す
または、数秒待つ
- ④ ②をダイヤルした端末にて、呼び出し音が鳴っている端末へのコールに対しての代理応答をする

※コールピックアップボタンにより代理応答する場合、代理応答する端末は、呼び出し先(着信先)の番号を判別できません。

※コールピックアップグループが異なる内線への代理応答はできません。



1	2	3	4	5	6
主-外線着信		主-代理応答	副回線1		副1-代理応答
7	8	9	10	11	12
主-パーク応答1	主-パーク応答2	主-パーク応答3	副1-パーク応答1	副1-パーク応答2	副1-パーク応答3
13	14	15	16	17	18
留守録再生	不在			ブラインド転送	転送
19	20	21	22	23	24
ワンタッチ1	ワンタッチ2	ワンタッチ3	ワンタッチ4	ワンタッチ5	パーク保留

※上記ボタン配列はあくまで一例となります。
実際の配列に関しては、ご利用者ごとに設定して頂く必要がございます。

■ 6.2 パーク保留

パーク保留については、「15.2 パーク保留とは？」を参照ください。

■ 6.2.1 パーク保留をする

●パーク保留ボタンを押し、パーク保留する

- ① 【パーク保留ボタン】を押します。
- ② 「100X (Xは1～3)番」と、パーク保留応答特番のガイダンスが10回流れます。
- ③ 音声案内を確認してから、【ハンドセット】を置きます。

●パーク保留用特番* 3をダイヤルし、パーク保留する

- ① 通話中に、パーク保留用特番* 3をダイヤルします。
- ② 「100X (Xは1～3)番」と、パーク保留応答特番のガイダンスが10回流れます。

お知らせ

- ・ 相手の方には保留メロディが流れます。
音声案内は「100X (Xは1～3)」が流れます。
音声案内に対応したコールパーク応答ランプが赤でゆっくり点滅します。
- ・ パーク保留の保留時間は180秒です。保留時間を過ぎると、パーク保留を起動した端末が再度呼び出されますので、必要に応じてパーク保留をやり直してください。
- ・ パーク保留は1パークグループあたり3コールまで使用することができます。
- ・ パーク保留中に別回線で通話を実施し、パーク保留時間180秒を過ぎてしまうと、パーク保留を実施した端末に保留呼び出しがされず、保留中の電話が切断されます。

■ 6.2.2 パーク保留中の電話に应答する

パーク保留中の電話への应答方法

下記のいずれかの方法でパーク保留中の電話への应答が行えます。

- ・ パーク应答ボタン（次頁図②の赤実線部分）を押し、代理应答することができます。
- ・ パーク应答特番（ガイダンスにて案内された「100X (Xは1～3)番」）をダイヤルし、代理应答する

●パーク应答ボタンを押し、应答する

- ① 点滅している【主回線-コールパーク应答ボタン】/【副X-コールパーク应答ボタン】を押します。
- ② ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話ください。
・ パーク应答は必ず①②の順番で実施ください。

●パーク应答特番「100X (Xは1～3)番」をダイヤルし、应答する

- ① 待機中に受話器を取る
副回線で应答する際は、【副回線ボタン】を押して受話器を取る
- ② パーク应答特番案内された「100X (Xは1～3)番」をダイヤル
- ③ 【#】を押す
または、数秒待つ

(図②)



1	2	3	4	5	6
主-外線着信		主-代理应答	副回線1		副1-代理应答
7	8	9	10	11	12
主-パーク应答1	主-パーク应答2	主-パーク应答3	副1-パーク应答1	副1-パーク应答2	副1-パーク应答3
13	14	15	16	17	18
留守録再生	不在			ブラインド転送	転送
19	20	21	22	23	24
ワンタッチ1	ワンタッチ2	ワンタッチ3	ワンタッチ4	ワンタッチ5	パーク保留

※ 上記ボタン配列はあくまで一例となります。
実際の配列に関しては、ご利用者ごとに設定して頂く必要がございます。

7. 転送

通話中の内線、外線を、他の内線電話機に取りつぐことができます。

■ 7.1 保留転送

接続中の呼を保留した後、指定先へ転送

- ① お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、【転送ボタン】を押します
- ② 呼び出す転送先番号を【ダイヤルボタン】で押します
- ③ 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、【ハンドセット】を置きます

お知らせ

- ・ ②の転送先番号として、内線番号、外線番号を指定可能です。
- ・ ②を行った後に転送ボタンまたはクリアボタンを押すと、転送先の呼び出しを中止し、相手の方との通話に戻ります。
- ・ 保留転送先の端末が留守番電話モードの場合に、保留転送を行った端末が、転送操作(上記③)を行った後に電話を切ってしまった場合は、発信者側の伝言が、保留転送先の留守番電話メッセージとして録音されます。

■ 7.2 ブラインド転送

接続中の呼を保留することなく指定先へ転送する(ブラインド転送)

- ① 通話中に【ブラインド転送】を押す
- ② 呼び出す転送先番号を【ダイヤルボタン】で押します
- ③ 【ハンドセット】を置きます

お知らせ

- ・ ②の転送先番号として、内線番号、外線番号を指定可能です。
- ・ 転送相手に転送できない場合は、発信者との通話が継続されます。
- ・ 一度転送をすると途中で転送先の番号を変更することが不可能の為、転送先の番号を間違えないようご注意ください。
- ・ 無応答転送/話中転送/無条件転送/圏外転送については『Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトマニュアル』を参照してください。

8. 留守番電話

外出時に備えて、内線番号ごとに留守番電話を利用できます。

■ 8.1 留守番電話

留守録メッセージがあった場合、留守録再生ランプがまたは副x-留守録再生ランプが赤点灯または赤点滅します。

赤点滅：新規留守録メッセージあり

赤点灯：既読留守録メッセージあり

留守録メッセージがある状態で以下の操作によりメッセージを確認することができます。

● 自端末から留守番電話を確認する

- ① 【主回線-留守録再生ボタン】/【副x-留守録再生ボタン】を押します。
- ② 【ハンドセット】を取りあげます。
- ③ ガイダンスに伴い内線番号を入力
- ③ ガイダンスに伴い暗証番号XXXX（Web設定変更サイトで確認可能）を入力
- ④ 留守録の再生を確認したら、【ハンドセット】を置きます

● 他端末から留守番電話を確認する

- ① 【ハンドセット】を取りあげます。
- ② 留守番電話アクセス番号【* 5】をダイヤル
- ③ ガイダンスに伴い内線番号を入力
- ③ ガイダンスに伴い暗証番号XXXX（Web設定変更サイトにて確認可能）を入力
- ④ 留守録の再生を確認したら、【ハンドセット】を置きます

お知らせ

- ・ 留守番電話用暗証番号(4桁の数字)はWeb設定変更サイトにて確認が可能です。
- ・ 留守番電話用暗証番号は変更することができません。
- ・ 留守番電話メッセージは内線端末からのみ聴取可能です。
- ・ 録音された留守番電話メッセージを削除することができます。
- ・ 留守電話メッセージの保存上限数は10件です。
- ・ 留守番メッセージの保存期間は10日間です。
- ・ 録音するメッセージの長さの上限は、120秒/件です。
- ・ 留守番電話の設定は端末ユーザでも設定可能です。
※端末ユーザについては、『Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトマニュアル』を参照ください。

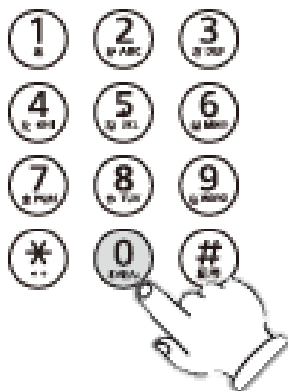
電話機操作により、電話機のIPアドレスを確認することができます。

■ 9.1 電話機のIPアドレスを確認する

- ① 待機画面のときに、【メニューボタン】を押します。
- ② メニューが表示され、データ設定モードに切り替わります。



- ③ ダイヤルボタンの【0】を2回押します。



- ④ IPアドレスがディスプレイに表示されます。



お知らせ

- ・ IPアドレスを確認することでパソコンでの電話機設定ができます。
パソコンでの設定方法は「12. パソコンを使って電話帳の登録を行う」をご確認ください。

■ 10.1 電話帳登録

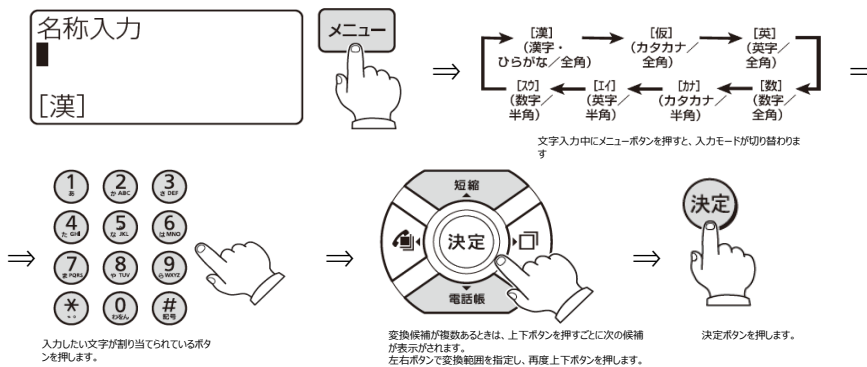
● 電話帳に連絡先を追加する

- ① 待機画面のときに、【電話帳ボタン】を長く (2~3秒) 押します。
- ② 名称を入力し
(全角で最大8文字、漢字・ひらがな/カナ/英字/数字
半角で最大16文字、カナ/英字/数字 (半角))、【決定】を押します
- ③ フリガナを入力し(最大15文字、カナ/英字/数字 (半角))、【決定】を押します
- ④ 電話番号を入力し(最大31桁、ダイヤル0~9、*、1桁目の#)、【決定】を押します
- ⑤ 【上下ボタン】を押して割り当てたいグループを選び(グループ 1~9)、【決定】押します
- ⑥ メモリ番号をダイヤルボタンで入力します。(000~499)
- ⑦ 【決定】を押します

お知らせ

- ・ 最大500件の連絡先を登録することができます。

<文字入力>



ボタン	入力モード			
	[漢]	[仮] [か]	[英] [イ]	[数] [ス]
①	あいうえおあいうえお	アイエオアイエオ	-	1
②	かきくけこ	カキクケコ	abc ABC	2
③	さしすせそ	サシスセソ	def DEF	3
④	たちつとっ	タチツテッ	ghi GHI	4
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	jkl JKL	5
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	mno MNO	6
⑦	まみむめも	マミムメモ	pqr PQRS	7
⑧	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuv TUV	8
⑨	らりるれる	ラリルレロ	wxyz WXYZ	9
⑩	わをん	ワオン	-	0
⑪	濁点、半濁点	濁点、半濁点	./	*
⑫	* (スペース) ー、	・・・。!?「」(スペース)	@:~?!"#\$%&'()* +;<=>[¥]^{ }~ (半角) ~ (全角) (スペース)	#
上下ボタン	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	-	-	-
左ボタン※1	カーソルを左に移動			
右ボタン※1	カーソルを右に移動			
決定ボタン	選択された漢字変換候補を決定	決定	決定	決定
クリアボタン	1文字消去	1文字消去	1文字消去	1文字消去

● 電話帳を修正／削除する

連絡先に登録してあるデータを編集します。

- ① 電話帳で、修正したい相手先の詳細を表示させます
- ② 【メニュー】を押します



- ③ 上下ボタンを押して「1:電話帳修正」を選択し、【決定】を押します。
- ④ 名称を修正し、【決定】を押します。
- ⑤ 必要に応じて項目（名称／フリガナ／電話番号／グループ／メモリ番号）を編集し、【決定】を押す

● 連絡先を削除する

電話帳に登録してあるデータを削除します。

- ① 電話帳編集 ① で「2：電話帳削除」を選択し、【決定】を押します
電話帳削除画面が表示されます。



- ② 「1：削除する」を選択し、決定ボタンを押します



お知らせ

- ・ パソコンを用いて電話帳登録等も実施可能です。
パソコンでの設定方法は「12. パソコンを使って電話帳の登録を行う」をご確認ください

■ 11.1 ワンタッチダイヤルボタンを登録する

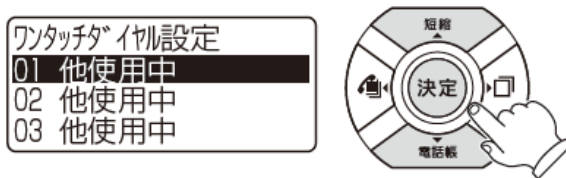
- ① 待機画面のときに、【メニュー】を押します



- ② 【上下ボタン】を押して、「03 発信機能設定」を選択し、【決定】ボタンを押します



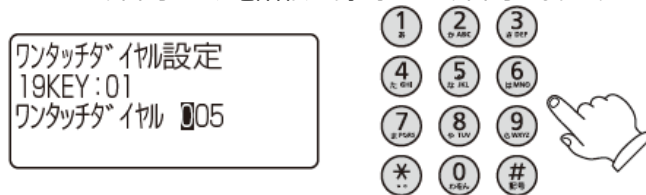
- ③ 【上下ボタン】を押して「03 ワンタッチダイヤル設定」を選択し、【決定】を押します



- ④ 【上下ボタン】を押して、登録するプログラマブルボタン（※1）を選択し、【決定】を押します
※1：ワンタッチダイヤルボタンへの設定は、プログラマブルボタンが未使用の場合のみ設定可能です



- ⑤ 割り当てるメモリ番号（000～499）（※2）を、【ダイヤルボタン】で押し下し、【決定】を押します
※2：メモリ番号とは、電話帳登録時のメモリ番号となります



- ⑥ 【クリア】を長く押します

登録を削除するには

- ⑤で、クリアボタンを押してメモリ番号を消去した後に、【999】をダイヤルボタンで押します。

プログラマブルボタンに新規でワンタッチダイヤルを追加した際の注意点

- マルチライン設定で、ワンタッチボタンの追加、割付位置変更した場合、プログラマブルボタンの若番から自動的にメモリ番号の「000」から順にワンタッチダイヤルの設定がされます。ワンタッチダイヤルボタンを新規追加した際は、ワンタッチダイヤルの設定を実施してください。
- 既存のワンタッチボタンの割付位置が変更ない場合は、ボタンに登録したメモリ番号はそのままの設定となります。

12. パソコンを使って電話帳の登録を行う

電話機にパソコンを接続し、パソコンを使って電話帳の登録・編集・削除を行うことができます。
パソコンから電話機へのログイン中は、「Web設定中」とディスプレイに表示され発着信含む端末操作はできません。

● 電話機とパソコンを接続する

- ① LANケーブルをパソコンのLANポートに接続します。
- ② パソコンに接続したLANケーブルの片方を、電話機本体のPCポートに接続します。

● Web設定を利用する

- ① パソコンでブラウザを起動します。
- ② ブラウザのアドレス欄に、接続した電話機のIPアドレスを入力し、[Enter] を押します。
※電話機のIPアドレス確認方法は、「9 IPアドレス確認」を参照してください。
- ③ 「ネットワークパスワードの入力」画面で、電話機にログインするためのパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー名：空白
パスワード：111111

- ④ 「HOME」画面が表示されます。

● パスワードを変更する

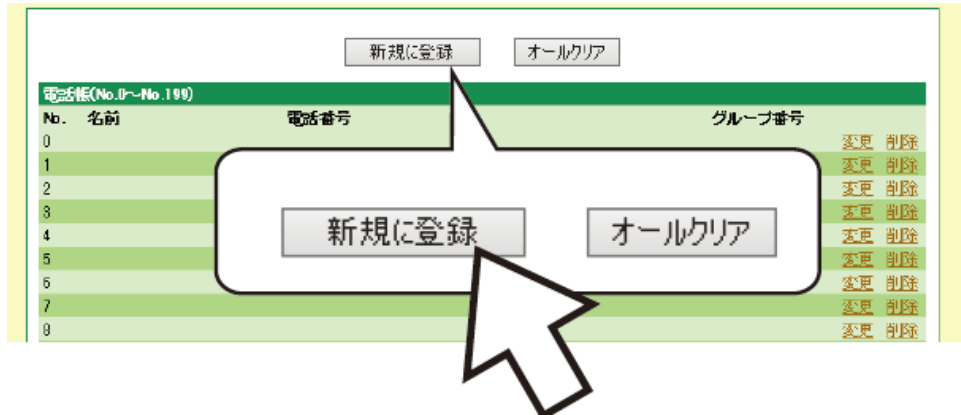
- ① メニューの [システム管理] をクリックします。
- ② [パスワード]、[確認用 (パスワードをもう一度)] を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

- ③ [了解] ボタンをクリックします。
- ④ メニューの [終了] ボタンをクリックし、その後 [了解] ボタンをクリックすると電話機が再起動し、設定が反映されます。

※パスワードリセットは行うことができませんので厳重に管理してください。

●電話帳を新規登録する

- ① メニューの [電話帳] をクリックします。
- ② [新規に登録] ボタンをクリックします。



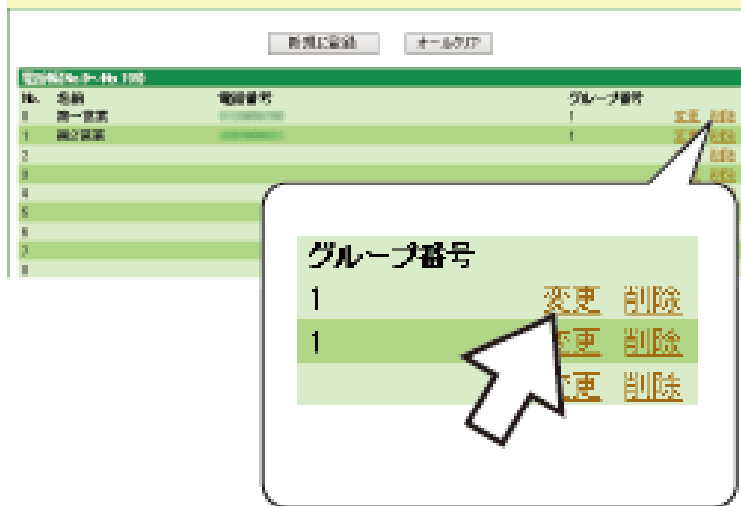
- ③ 各項目を入力し登録ボタンをクリックします。

The screenshot shows the '電話帳' (Phonebook) registration form. It has four input fields: '名前' (Name) with a note '※最大全角8文字・半角16文字', 'カナ' (Kana) with a note '※最大半角15文字', '電話番号' (Phone Number) with a note '※最大半角31桁', and 'グループ番号' (Group Number) with a note '※1~9'. At the bottom, there are two buttons: '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel). A mouse cursor is pointing to the '登録' button.

- ④ [了解] ボタンをクリックします。
- ⑤ さらに登録する場合は、②～④を繰り返します。
- ⑥ 電話帳登録が終了したらメニューの [終了] ボタンをクリックし、その後 [了解] ボタンをクリックすると電話機が再起動し、設定が反映されます。

●電話帳を編集する

- ① メニューの [電話帳] をクリックします。
- ② 目的の電話帳の行の [変更] をクリックします。



- ③ 必要な項目を変更し、[登録] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the phonebook edit form with the following fields:

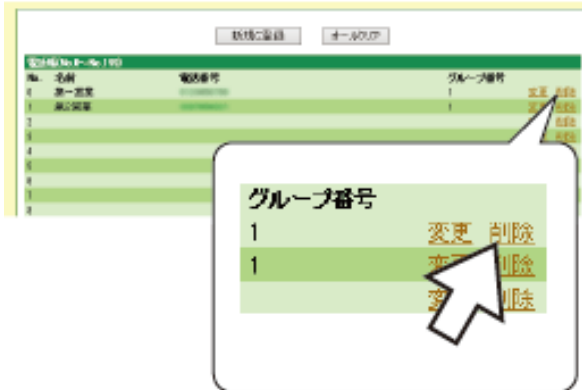
- 名前: 第一営業 (※最大全角8文字・半角6文字)
- カナ: ダイイチヤウ (※最大半角10文字)
- 電話番号: (※最大半角11桁)
- グループ番号: 1 (※1~8)

The '登録' (Register) button is highlighted with a callout arrow.

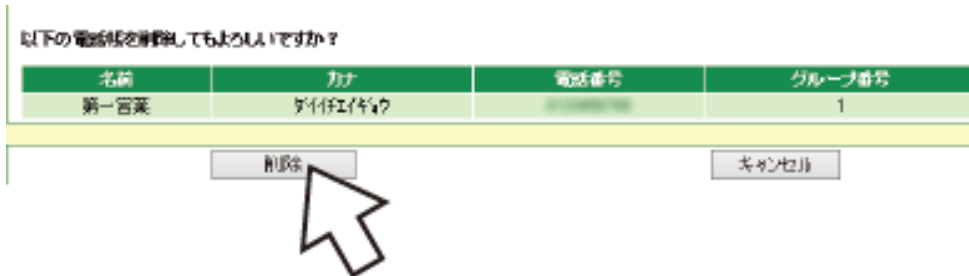
- ④ [了解] ボタンをクリックします。
- ⑤ ほかの相手先を編集する場合は、②～④を繰り返します。
- ⑥ 電話帳の編集が終了したらメニューの [終了] ボタンをクリックし、その後 [了解] ボタンをクリックすると電話機が再起動し、設定が反映されます。

● 電話帳を削除する

- ① メニューの「電話帳」をクリックします。
- ② 目的の電話帳の行の「削除」をクリックします。



- ③ 電話帳削除画面が表示後、「削除」ボタンをクリックすると電話帳が削除されます。



- ④ 「了解」ボタンをクリックします。
- ⑤ さらに削除する場合は、②～④を繰り返します。
- ⑥ 電話帳の削除が終了したらメニューの「終了」ボタンをクリックし、その後「了解」ボタンをクリックすると電話機が再起動し、設定が反映されます。

● 電話帳を全て削除する

- ① メニューの「電話帳」をクリックします。
- ② 「オールクリア」ボタンをクリックします。



- ③ 電話帳オールクリア画面が表示後、「了解」ボタンをクリックすると電話帳が削除されます。
- ④ メニューの「終了」ボタンをクリックし、その後「了解」ボタンをクリックすると電話機が再起動し、設定が反映されます。

13. データ設定

■ 13.1 表示設定



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
時刻表示形式 時刻表示形式 12時間制 0 12時間制 1 24時間制	待機画面の時刻表示を12時間制、または24時間制のどちらにするか設定する。	① 設定を選択する ② …… 12時間制 ① …… 24時間制
自己電話番号表示 自己電話番号表示 表示する 0 表示しない 1 表示する	待機画面に、内線番号/ディスプレイネーム、外線番号を表示するかどうか設定する。 ※本サービスにおいては内線番号のみ表示可能です。	① 設定を選択する ② …… 表示しない ① …… 表示する
待機画面選択 待機画面選択 内線番号表示 0 内線番号表示 1 ディスプレイネーム表示	待機画面を内線番号かディスプレイネーム表示にするかどうか設定する。 ※本サービスにおいては内線番号のみ表示可能です。	① 設定を選択する ② …… 内線番号表示 ① …… ディスプレイネーム表示
コントラスト調整 コントラスト調整 2	画面表示のコントラストを設定する。(9段階)	① クリアボタンを押したあとに、設定を選択する ④ (濃い) ~ ② ~ ③ (薄い)
バックライト設定 バックライト設定 使用時点灯 2 使用時点灯	画面のバックライトを常に消灯、または点灯させるか、使用時(ボタンを押したとき/ハンドセットを取りあげたとき、または置いたとき/内線または外線が着信したとき)から約20秒間だけ点灯させるか設定する。	① 設定を選択する ② …… 常時点灯 ① …… 常時点灯 ② …… 使用時点灯

■ 13.2 通知音設定



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
キー確認音 キー確認音 送出する 0 送出しない 1 送出する	ボタンを押したとき、確認音を鳴らすかどうか設定する。	① 設定を選択する ④ …… 送出しない ① …… 送出する
保留音送出設定 保留音送出設定 送出する 0 送出しない 1 送出する	通話を保留したときの保留音をハンドセットやスピーカから送出するかどうか設定する。	① 設定を選択する ④ …… 送出しない ① …… 送出する

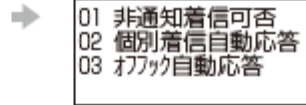
■ 13.3 発信機能設定



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
発信回線種別選択 発信回線種別選択 内線発信 0 内線発信 1 外線発信	ハンドセットを取りあげる、またはスピーカボタンを押したときに、内線発信が可能な状態にするか外線発信が可能な状態にするかを設定する。	① 設定を選択する ② ……内線発信 ① ……外線発信
ワンタッチ即時発信 ワンタッチ即時発信 発信しない 0 発信しない 1 発信する	プログラマブルボタンに登録したワンタッチダイヤルボタンを押すだけで、登録された相手先に発信する「ワンタッチ発信」を利用するかどうかを設定する。	① 設定を選択する ② ……発信しない ① ……発信する
ワンタッチダイヤル設定 ワンタッチダイヤル設定 01 他使用中 02 他使用中 03 他使用中	プログラマブルボタンにワンタッチダイヤルを設定する。	詳細は、「ワンタッチダイヤルボタンを登録する」を参照 (P10)
外線発信番号通知 外線発信番号通知 通知する 0 通知しない 1 通知する	外線発信番号を通知するかどうか設定する。	① 設定を選択する ② ……通知しない ① ……通知する

■ 13.4 着信機能設定



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
非通知着信可否 非通知着信可否 着信を許容する 0 着信を拒否する 1 着信を許容する	電話番号非通知の着信を拒否するかどうかを設定する。	① 設定を選択する ② ……着信を拒否する ③ ……着信を許容する
個別着信自動応答(着信自動応答時間) 着信自動応答時間 6秒後に応答 2 6秒後に応答 3 9秒後に応答	個別着信自動応答ボタンを点灯させたときの自動応答時間を設定する。	① 設定を選択する ② ……即時応答 ③ ……3秒後に応答 ④ ……6秒後に応答 ⑤ ……9秒後に応答 ⑥ ……12秒後に応答
個別着信自動応答(着信自動切断時間) 着信自動切断時間 6秒後に切断 2 6秒後に切断 3 9秒後に切断	個別着信自動応答ボタンを点灯させたときの自動切断時間を設定する。 ※本サービスにおいては使用できません。	① 設定を選択する ② ……自動切断しない ③ ……3秒後に切断 ④ ……6秒後に切断 ⑤ ……9秒後に切断 ⑥ ……12秒後に切断
オフフック自動応答 オフフック自動応答 応答しない 0 応答しない 1 応答する	ハンドセットを取り上げる、またはスピーカボタンを押すだけで外線に応答するかどうかを設定する。	① 設定を選択する ② ……応答しない ③ ……応答する

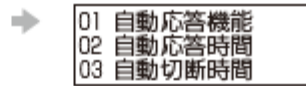
■ 13.5 着信音設定



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
内線着信音 内線着信音 着信音A 00 鳴動なし 01 着信音A	内線着信音を選択する。	① 設定を選択する 0 0・・・鳴動なし 0 1・・・着信音A 0 2・・・着信音B 0 3・・・着信音C 0 4・・・着信音D 0 5・・・着信音E 0 6・・・着信音F 0 7・・・着信音G 0 8・・・着信音H 0 9・・・着信音I 1 0・・・着信音J
外線着信音 外線着信音 着信音I 08 着信音H 09 着信音I	外線着信音を選択する。	① 設定を選択する 0 0・・・鳴動なし 0 1・・・着信音A 0 2・・・着信音B 0 3・・・着信音C 0 4・・・着信音D 0 5・・・着信音E 0 6・・・着信音F 0 7・・・着信音G 0 8・・・着信音H 0 9・・・着信音I 1 0・・・着信音J

■ 13.6 ヘッドセット機能設定



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
自動応答機能 	着信に自動で応答するかどうかを設定する。	① 設定を選択する ② …… 自動応答しない ① …… 自動応答する
自動応答時間 	自動応答時間を設定する。	① 設定を選択する ② …… 即時応答 ① …… 3秒後に応答 ② …… 6秒後に応答 ③ …… 9秒後に応答 ④ …… 12秒後に応答
自動切断時間 	自動切断時間を設定する。	① 設定を選択する ② …… 自動切断しない ① …… 3秒後に切断 ② …… 6秒後に切断 ③ …… 9秒後に切断 ④ …… 12秒後に切断

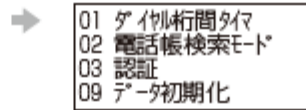
■ 13.7 カレンダー設定



■ : お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
日付設定 	日付を設定する。	① クリアボタンを2回押し、西暦の下2桁 (00~99) を入力する ② クリアボタンを2回押し、月 (01~12) を入力する ③ クリアボタンを2回押し、日 (01~31) を入力する ④ 決定ボタンを押す 00年01月01日
時刻設定 	時刻を設定する。	① クリアボタンを2回押し、時 (24時間制00~23) を入力する ② クリアボタンを2回押し、分 (00~59) を入力する ③ 決定ボタンを押す 00時00分

■ 13.8 その他の設定



：お買い求め時の設定

メニュー項目	概要	登録・設定方法
ダイヤル桁間タイマ ダイヤル桁間タイマ 04	自動でダイヤル発信するタイマを設定する。	① クリアボタンを2回押し、自動でダイヤル発信するタイマ02(秒)～15(秒)を入力する ② 決定ボタンを押す 04
電話帳検索モード 電話帳検索モード 0 カナ検索 1 グループ検索	電話帳ボタンを押したときに表示される検索画面の優先順位を設定する。	① 設定を選択する ② ……カナ検索 ③ ……グループ検索
認証 認証 DE16-0057001	JATE認証番号を表示します。	—
データ初期化 データ初期化 00	ユーザ操作の設定データまたは電話帳を初期化します。	① クリアボタンを2回押し ② ユーザ設定初期化の場合、00を入力して決定ボタンを押す 電話帳のみ初期化の場合、99を入力して決定ボタンを押す ③ 実行にカーソルを合わせて決定ボタンを押す

■ 14.1 音量調整

音量調整をする

音量調整ボタンの【▲】と【▼】を使って、着信、受話器、ヘッドセット、スピーカーの音量を調整することができます。

着信音量を調整する

着信中、【▲】または【▼】を押す

- ・音量をオフにすることは出来ません。
- ・音量は4段階に調整できます。

■ 14.2 内線テストコール

端末の新設時、または接続性の確認のためにシステムとの接続テストを行えます。

- ① 内線テストコール特番 1 2 3 4 をダイヤル
- ② 内線テストコールのガイダンスが流れる
「このサービスは利用可能です」

■ 14.3 ご利用ネットワーク環境における設定

- ・Flexible InterConnect接続環境でご利用いただく場合、一旦インターネットへ接続して自動設定したのち、Flexible InterConnect接続へ接続し直してください。
 - ・端末自動設定をご利用の際は、Web設定変更サイトでご利用ネットワーク環境（Flexible InterConnect接続またはインターネット）に合った接続種別を適切に設定してください。ご利用のネットワーク環境と異なった接続種別を設定した場合、ご利用できません。
- なお、端末自動設定の接続種別（初期設定）は下記となります。

お申込み形態	Arcstar Universal One接続オプション	IP電話機お買上げメニューお申し込み時における端末自動設定の接続種別（初期設定）
新規	利用なし	インターネット
	利用あり	Flexible InterConnect接続
変更	利用なし → 利用なし	インターネット
	利用なし → 利用あり	インターネット
	利用あり → 利用なし	インターネット
	利用あり → 利用あり	Flexible InterConnect接続

■ 14.4 IP電話機お買上げ時の管理者権限

IP電話機お買上げメニューでご購入された場合、IP電話機（ミッドレンジモデル2）の管理者機能を制限しています。そのため、お客様にて管理者機能を必要とする設定を行うことはできません。

14. その他設定

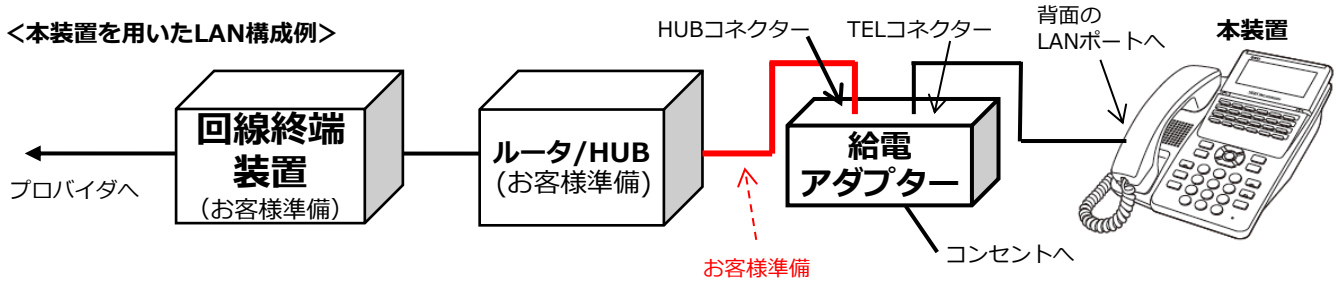
■ 14.5 本機を設置/接続する

- (1) 本装置とお客様準備のルータを接続し、インターネットへ接続できる環境としてください。
- (2) 本装置と給電アダプターを接続する準備をしてください。※接続準備が出来次第、手順（同梱されているご利用開始ガイドを参照）に沿って操作ください。

[※注意事項]

Flexible InterConnect環境で本機器をご利用いただく際は、必ず初めに本工程を実施してからFlexible InterConnectへ接続してください。次工程の自動設定は、インターネットに接続できる環境でのみ実施可能ですのでご注意ください。

<本装置を用いたLAN構成例>



(注意事項)

- ・ミッドレンジモデル2は、初回端末起動時に必要な操作があります。操作を未実施の場合、または操作時に選択を誤った場合、ディスプレイに「IP接続エラー」「主装置発見エラー」等が表示されます。この場合は、購入時に同梱されているご利用開始ガイドを参照の上、操作をはじめから実施してください。
- ・ルータ/HUBと給電アダプタを接続するLANケーブルが必要です。お客様準備となりますのでご注意ください。

■ 14.6 ディスプレイに表示される情報

ディスプレイ表示	状況	確認事項
DHCPサーバ 接続失敗	DHCPサーバに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> ・DHCPサーバおよびお客様ネットワーク環境の設定が正しいか確認してください ・中継機器あるいはDHCPサーバのLANケーブルが抜けていないか確認してください
レジスト未登録xxxxx (表示例) X20201 レジスト未登録012	<p>主回線および副回線のSIPサーバへの接続登録に失敗しました</p> <p>xxxxx=登録に失敗した回線を数字で表示します (0: 主回線、1~5: 副回線1~5)</p> <p>内線番号の左に X (エックス大文字) が表示されます</p> <p>表示例は主回線と副回線1,2がSIPサーバへの接続登録に失敗している状態です</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SIPサーバへの接続状態を確認してください ・中継機器のLANケーブルが抜けていないか確認してください
x(小)○○○○ (表示例) x20201	<p>コールピックアップ/コールパークグループに所属していない場合に、内線番号の左にx (エックス小文字) が表示されます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エラーではありません ・コールピックアップ/コールパークグループを利用する場合は、Smart PBX Web設定変更サイト (ユーザ管理者) の着信グループ設定にて設定ください (コールピックアップ/コールパークグループに所属すると x (エックス小文字) は表示されません)

■ 14.7 留意事項

ディスプレイ回りがブラウンの端末は、HAハンドセットは「接続なし（初期設定）」にてご利用ください。「接続あり」に設定変更すると受話器からの音声聞き取りづらくなります。

（「メニュー」 > 「08 その他設定」 > 「04 HA対応ハンドセット接続」 > 0 接続なし（初期設定））

16. 機能用語集

■ 16.1 コールピックアップとは？

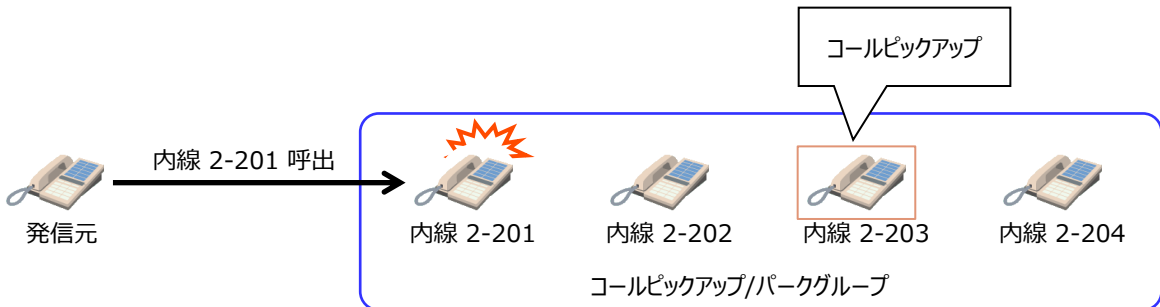
グループ内の端末が鳴動中に他の端末から着信を取る（ピックアップ）ことができる機能です。

【使用例】

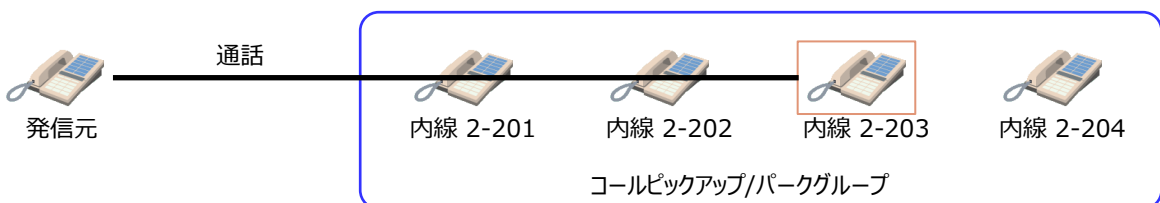
①グループに所属している内線に電話がかかってきました。



②グループ内の別の内線電話機の受話器を上げて、コールピックアップ特番（* 4）をダイヤルするか、コールピックアップボタンを押します。



③グループ内の別の内線電話機で代理応答・通話ができます。（発信元番号は表示しません）



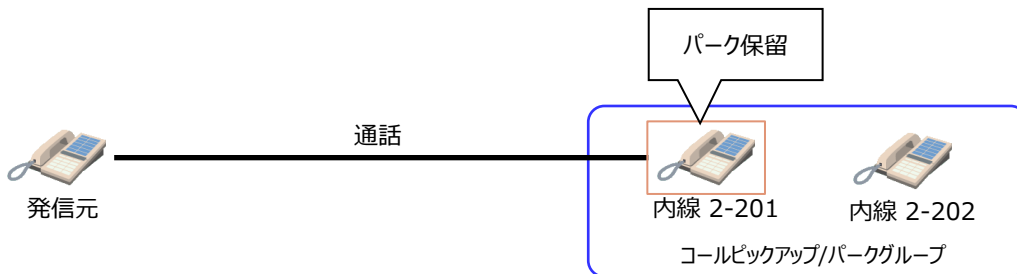
16. 機能用語集

■ 16.2 パーク保留とは？

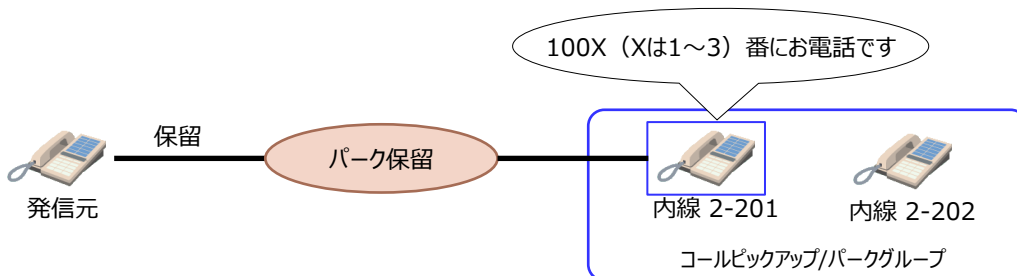
通話中の呼を保留（パーク保留）し、他の端末で保留呼（パーク応答）に応答することができる機能です。

【使用例】

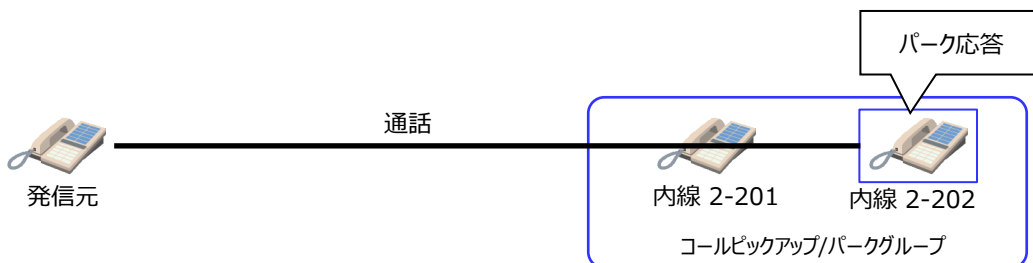
①通話中、パーク保留特番（＊ 3）をダイヤルするか、パークボタンを押します。



②パーク保留応答特番が、パーク保留の操作をした電話機にガイダンスされます。
グループ内の方などに、ガイダンスされたパーク保留応答特番 100X（Xは1～3）を伝えます。



③パーク保留応答特番(1001～1003のいずれか)をダイヤルするか、パークボタンを押すと、保留していた相手との通話状態になります。



16. 機能用語集

■ 16.3 複数着信とは？

複数の着信呼を貯めることができることです。複数着信を設定することにより、以下の動作が可能となります。

- ①通話中に別の着信がきた場合にうけることができます。（通話中着信）
- ②1つ目の着信中に2つ目の着信も同時にうけることができます。（着信中着信）

なお、複数着信の設定は、Web設定変更サイトのユーザ管理者にて設定を実施し設定完了後にミッドレンジモデル2を再起動することにより有効となります。

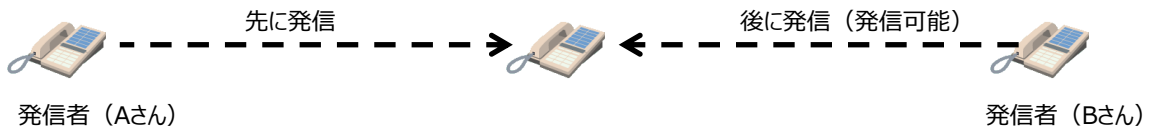
複数着信数は、主回線の外線着信で最大4着信、副回線の内線/外線着信は2番号まで最大3着信の設定が可能。

【複数着信を設定の場合】

- ①通話中に別の着信をうけつける（通話中着信が可能）

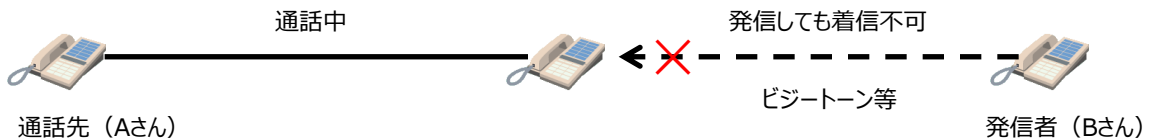


- ②2つの着信を同時にうけつける（着信中着信が可能）



【複数着信を未設定の場合】

- ①通話中に別の着信はうけつけません（通話中着信が不可）



- ②2つの着信は同時にうけつけない（着信中着信が不可）

